

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ハートランド豊田の杜		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 2日	～	令和6年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日	～	令和6年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数の受け入れで、部屋も広々と職員がじっくり利用者に関われる	個々の課題やニーズに沿った個別の活動を行う際は、利用者全員に関われるように、職員の配置や時間を調整し取り組んでいる。	個々の好きや得意を広げる、新しい物に挑戦ができるように、個別活動の選択肢を増やす。
2	同じ施設内や敷地内に生活介護、就労Bがあり卒業後の進路先の1つとしてイメージが付きやすい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護と合同レクを企画し、交流の機会を設けている。</li> <li>・生活介護や就労Bが行う作業を取り入れて行っている。</li> <li>・家族から生活介護や就労Bの空き状況や活動等の質問があった場合は、答えられる範囲で伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当施設に進路先が決まった場合は、利用開始前の情報提供だけでなくその後もしばらくは、進路先の職員と情報共有をし見守る姿勢をもつ。希望があれば、放デイ職員が進路先の現場に入って特性を伝えたり、助言等のフォローアップを図る。</li> </ul>
3	身体障がい児、知的障がい児のどちらの受け入れも行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曜日で受け入れ児童を分け、それぞれ障がい特性に合わせた支援に努めている。</li> <li>・同じ活動でも、内容やルールを変え、それぞれの児童が楽しめるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も研修等でそれぞれの障がいの理解や知識等の向上に努める。</li> <li>・障がい、身体特性を考慮してそれぞれが楽しめるように、外出の目的地を変えるなどを検討してみる。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスが十分ではなく、限定的である	他部署との兼ね合いもあり、送迎車を使える時間帯や人員が限られている。	これ以上の車や人員を増やすのは経費の面からも難しいため、今後も見学や利用を検討していただく段階で、送迎が限定的であるマイナス面も十分説明、納得して利用を決めてもらう。
2	メールやSNSを使った連絡や情報発信	施設全体として、デジタルツールを活用した連絡や情報発信にあまり積極的に取り組んでこなかった。	ホームページを新しくし、インスタグラムも始めたばかりなので、まずはそこから少しずつ情報発信をしていく。
3	防犯訓練がやれていない	地震などの災害に比べ、防犯に対する意識、危機感が薄く訓練につながってこなかった。	まずは、意識付けを目的に、やれそうな簡単な訓練から取り入れてやってみる。